

# News Letter

a profession  
（専門職）

『a profession』では当院で働く『専門職』スタッフを取り上げ、その人の担当業務や仕事に対する思いを紹介しています。

今回は、新しく赴任して来られた先生を紹介します。

Q1 あなたの担当業務を教えてください。

Q2 現在の職業（職種）を選択した理由を教えてください。

Q3 業務を通じて、今までで最も心に残っている出来事があれば教えてください。

Q4 あなたの好きな言葉、あなたの信念において指標としている言葉を教えてください。

Q5 広報誌の読者へのメッセージをぜひ！



医局

内科

入吉 宏紀



Q1 内科（外来・病棟）

Q2 深い理由はありません。強いて言うならば、以前に事故で医師に助けて頂いたことがあるからでしょうか。

Q3 これまで高知県内のへき地勤務をしてきましたが、転勤の際に涙して別れを惜しんでくれた方がいたこと。

Q4 今を大切に

Q5 医師として、また人としてもより一層成長したいと思っていますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくおねがいします。

医局

小児科

松下 憲司



Q1 小児、新生児の外来・病棟業務

Q2 子供の傾助けてもらった恩送りのため

Q3 自分の実力不足で姉を助けることが出来なかった超低出生体重児の双胎児のことは忘れられません。妹さんは20歳になったと関東から会いに来てくれ、とてもうれしかったとともに、少し心が救われました。

Q4 知らないと思えてこない

Q5 久しぶりの一般小児科医への復帰で迷惑をおかけすると思いますが、がんばりますのでよろしくお願ひします。

医局

小児科

野村 真也



Q1 小児科

Q2 幼少期にお世話になった科を目標そうと思ったため

Q3 小児白血病の患児がICU管理やその他色々な治療を乗り越

え、病棟を歩いている姿を見た時は子どもの可能性を感じました。

**Q4** 努力は裏切らない

**Q5** 少しでも多くの方々のお役に立てるように頑張ります。まだまだ迷惑をおかけするかとは思いますが、よろしくお願いします。

## 医局

### 循環器内科

濱田 幸汰



**Q1** 循環器内科

**Q2** 医療系の職種に興味があり、チャレンジしてみたいと思ったから

**Q3** 一年目の紹介搬送で送った方が現在では外来通院できるくらいの状態になったと聞いて嬉しかったです。

**Q4** 何事も謙虚に

**Q5** 精一杯頑張ります、宜しくお願い致します。

## 医局

### 消化器内科

重久 友里子



**Q1** 消化器内科 検査、病棟業務

**Q2** 人の役に立てる仕事があったから

**Q3** 消化器内科医として働き始めの頃、患者さんに治療方針を信頼して任せて頂けたこと

**Q4** 初志貫徹

**Q5** 皆さんのお役に立てるよう日々勉強していきますのでよろしく申し上げます。

## 医局

### 小児科

寺内 芳彦



**Q1** 小児科

**Q2** 学生時代の実習で一番興味をひかれたので

**Q3** 生まれて間もなくに診察した赤ちゃんが成長して、外来で「ありがとう」と言ってくれたこと

**Q4** 一年楽しみたければ花を植えよ、十年楽しみたければ木を植えよ、百年楽しみたければ人を育てよ

**Q5** 10年ぶりに幡多地域に戻ってきました。またよろしくお願ひします。

## 医局

### 整形外科

葛西 雄介



**Q1** 整形外科医として、特に脊椎疾患を中心に外来、手術をしています。

**Q2** 「ごはんを食べるのも、トイレに行くにも、骨や筋肉があつてこそ、そんな日常生活に直結する整形外科は楽しいと思います。」

**Q3** けがや病気で動けなくなっ

た人が、自分の手術で歩けるようになるのが嬉しいです。

**Q4** 誰かの幸せを応援できる人になりたいです。

**Q5** 幡多での生活を楽しみにしています。よろしくお願ひします。

## 医局

### 精神科

佐々木 雄志



**Q1** 精神科リエゾン、緩和ケア

**Q2** 幼い頃からの憧れ

**Q3** 患者の回復の一助になれた時にはいつも嬉しく思います。

**Q4** 「謙虚」「誠実」常に驕らず真摯でいたい

**Q5** 気になること、心配なことがございましたら、お気軽にご相談ください。





## 「口から食べる楽しみを」

### 栄養科



私たちのからだは毎日の食事から作られています。食べることの意味・目的は必要な栄養をとることはもちろんですが、食を通して「おいしい」「楽しい」を実感し、心が動かされ生活を豊かにすることにつながります。体や心の不調があると、思うように食べることができなくなり、その大切さにあらためて気づかれます。

口から食べること。その健康効果を改めて考えてみましょう。私たちが無意識にしている「噛む」「飲み込む」動作も、続けることで機能が維持できています。

腸を使って栄養をとることは腸管機能を維持し感染症予防や低栄養予防が期待できます。

また、食べることによって、五感と言われる視覚、聴覚、嗅

覚、味覚、触覚の刺激になり脳の働きが促され認知機能維持にもつながるといわれています。

その他にも、「噛んで食べる」ことには多くのメリットがあります。

噛むことで唾液分泌が促され、口腔内感染予防につながります。唾液は細菌やウイルスを防御し、さらに口腔内の汚れも洗い流してくれます。

また、唾液に含まれるムチンには粘膜保護作用があり、アミラーゼはでんぷんの消化を助けてくれます。

このように、よく噛んで食べることは虫歯予防や口腔内乾燥予防、口臭予防、あごの発達や味覚の発達などたくさん健康効果が期待できるため、小さいお子さんから高齢の方まで年齢を問わずおすすめできる健康の秘訣といえます。

生活の質の大部分を占める食事は、健康効果以外にも精神的な満足による効果は大きく、楽しい時間が過ごせることで病气と闘う希望、生きる希望につながります。

「おいしい」「おなかがいっぱい」といった感覚を得られることは前向きで満たされた気持ちになります。

また、家族や親しい人と食事をともにするなど、食べることは社会とのつながりを感じる機会にもなります。

コロナ禍では難しくなっていますが、会話を通してコミュニケーションがとれることで、安心感や自分が必要とされていると感じる場にもなります。

何を、いつ、だれと、どのように食べるか。何気ない日々の選択が私たちの心と体を支えています。

自分の体や心が出しているサインに気づいたら、ぜひ食事を見直してみてください。「動く」ことができる。あたりまえのことを大切に。

みなさんにとって、食事の時間が笑顔になれる時間でありま



## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとらして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの**（薬剤情報提供書・お薬手帳など）を持って行くようにしましょう！

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

第58回  
幡多ふれあい医療公開講座  
幡多地域糖尿病公開講座

《共同開催》



日時：令和3年10月31日（日）

13時開場 13時半開演

（15時半終了予定）

場所：宿毛文教センター

内容：

①あなたは健康ですか？

↳健康という名の病

高知大学医学部内分泌代謝・

腎臓内科 糖尿病センター

助教 平野 世紀

②がんの予防とがん検診

高知県総合保健協会

幡多健診センター

センター長 上岡 教人

この講座は

『高知家健康パスポート事業』

対象講座です。

どなたでも参加できます。

共催：

高知県立幡多けんみん病院

高知県幡多福祉保健所

後援：

四万十市・宿毛市・土佐清水

市・黒潮町・大月町・三原村・

幡多健診センター・幡多医師会

※参加無料、事前申込不要

新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、開催を中止する場合があります。最新の情報は幡多けんみん病院のホームページをご覧ください。またはお問い合わせください。

【問い合わせ先】  
幡多けんみん病院

（経営事業課）

（0880）66・2222

幡多福祉保健所

健康障害課 健康増進担当

（0880）34・5120

または

市町村保健福祉担当部署

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
2. 医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利
3. プライバシーが保護される権利
4. 自分の希望を伝え、自らの意思で選択し、決定する権利
5. 人間としての尊厳が守られる権利
6. 他の医療機関の医師の意見「セカンドオピニオン」を求める権利
7. 子どもの「生きる」「育つ」「守られる」権利

統計	8月
外来患者数	10889人
新外来患者数	1620人
新入院患者数	549人
退院患者数	518人
平均在院日数	11.83日
救急車・時間外患者数	1031人
手術件数	140件

